



「できた！」

No. 21

文責 校長 木下和敏

2022年人権週間（12月4日～12月10日）

1948年12月10日、国連総会で「世界人権宣言」が採択されたのを記念し、1950年の国連総会で12月10日を「人権デー」と定めるとともに、すべての加盟国に実施を呼びかけました。日本では、世界人権宣言採択の翌年（1949年）、法務省と全国人権擁護委員連合会が、12月4日から10日までの一週間を「人権週間」と決めました。12月10日は、日本だけではなく、世界のたくさんの国で「人権」について考える日になっています。

大園小学校では、11月14日（月）～12月9日（金）を「大園小人権月間」として、人権にかかわる学習を行ってきました。各学年の取組では、取組の柱となる学年目標を設定して廊下に掲示し、具体的な学びを行うようにしました。また、図書室にも人権コーナーを設け、子どもたちに読んでもらったり、担任が読み語りを行ったりすることで人権への意識を高めるようにしました。本日、リモートで各教室をつなぎ、人権集会を行いました。

人権週間に限らず、日々の生活の中で次のような視点で自分や友達を見つめてほしいと思います。

①「自分の好きなのところはどんなところかな？」

自分自身のすてきなところを見つけた分、きっと自分のことがもっと好きになり、大切に思うことができるでしょう。

②「友達のすてきなところはどんなところかな？」

いつも一緒にいる友達のことを改めて考えてみると、友達のすてきなところにたくさん気づくことができるでしょう。

③「自分とお友達の違うところってどんなところかな？」

一人一人、みんな違ってみんないい。それを個性と言います。みんなの違うところを認め合いながら、自分や友達のすてきなところをたくさん見つけましょう。得意なことや苦手なことも人それぞれです。優しい気持ちを持って、困っている人や悩んでいる人がいたら、それぞれの得意をいかして、助け合いましょう。

④「世界にも目を向けましょう。」

世界には、いろいろな人やいろいろな文化があります。話す言葉も国によって違います。そのほかにも違いはたくさんあります。でも一緒なのは、みんな同じ「一人の人」ということです。

【校長講話から（一部抜粋）】

私たちは誰でもみんな、一人の人間として、命が守られ、社会のルールの中で、明るく楽しい生活をおくる権利をもっています。あなたも私も、誰もがみんな、生まれた時からずっともっている、大切な権利です。しかし、例えば、私たちは今、「いじめ」という大きな問題を抱えています。中には気付かないうちに友達を傷つけている場合もあります。もし「いじめ」を受けていたら、どんな気持ちでしょうか。ちっとも楽しくなくて、悲しくて辛い生活になってしまいますよね。

心や体を傷つけ、辛い気持ちにさせる、この「いじめ」は、人権を傷つけるとても大きな問題です。一人ひとりが、思いやりとやさしい心を大切にして、「いじめ」のない、楽しい毎日を過ごせるようにしていきましょう。（中略）

最後に今日も一つの言葉を覚えてもらおうと思います。その言葉は【十人十色（じゅうにんといろ）】です。人はそれぞれ好みや意見が異なっているということ。ひとりひとり、みんな別々の趣味や好きなものの得意なことがあって、一人一人違うということです。みんな違って、みんないい。それぞれの素敵な個性を精一杯輝かせ、お互いに認め合う大園小学校にしていきたいと思います。



※ 明日、12月2日（金）は、全校「お弁当の日」です。水筒も必ず持たせてください。